

競技注意事項

1. 競技規則について

- ①本大会は、2025年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。
- ②本大会では、スタートを電子音で行い、日本陸上競技連盟規則 TR16.7 により、音声や動作その他の方法で他の競技者を妨害した場合、最初は注意（グリーンカード）に留めるが、繰り返し行う場合は、警告（イエローカード）を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外は行わない。
- ③シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さは、日本陸上競技連盟規則 TR5.2～TR5.6 により 20mm 以内、競歩競技は 40mm 以内とする。また、大会会場が使用を認めていないスパイクを使用しての競技参加は認めない。
- ④競技前、競技中、競技後に、競技靴などについて疑義が生じた場合、審判長は点検することができる。

2. 来場について

- ①原則として、有観客で実施し、健康状態に不安がない者の来場に制限を設けない。なお、政府等の発令や会場管理者による制限、感染状況の拡大に基づく主催者の判断によっては、予告なく制限することもある。
- ②会場での行動は、運営方針又は会場系の指示に従うこと。

3. ウォームアップについて

- ①本競技場でのウォームアップは、開門（8時）からトラック種目のみとし、競技開始15分前までとする。投擲競技の練習は、招集完了後から競技開始までの公式練習のみとする。投擲競技の公式練習開始後は、芝生フィールド内に立ち入らない。
- ②第2競技場での練習は、開門（7時）からトラック種目のみとする。投擲競技の練習は実施しない。
- ③本競技場および第2競技場では競技場備え付け以外のトレーニング用具を持ち込んでの練習（特にチューブによる牽引走やメディシンボールの投擲）は原則禁止とする。また、公園内の園路でジョギング以外のアップや各施設の駐車場を使用しない。
- ④練習は本競技場、第2競技場ともに次の通りを行う。
1～2レーン周回練習、3～6レーン短距離・スピード練習、7～8レーンハードル練習
但し、トラックでのジョギング及び集団走は禁止とする。また、状況に応じて変更する場合がある。その際は練習会場系の指示に従うこと。
- ⑤競技場での練習は選手のみとし、集団練習は禁止とする。
- ⑥第2競技場開門の7時以降は園路での練習を禁止とする。
- ⑦競技開始後、第2競技場でのピストルの使用は禁止する。
- ⑧競技中の本競技場におけるウォーミングアップ対応
 - ・5月31日（土）女子共通100mHから男子共通110mH競技中のバックストレート200m競技中の第1コーナー途中～バックストレート途中
 - ・6月1日（日）女子共通100mHから男子共通110mH競技中のバックストレート
 - ・6月7日（土）男子A100mから男子B100mの競技中のバックストレート
 - ・6月8日（日）女子A100mから女子B100mの競技中のバックストレート
- ⑨競技中の第2競技場におけるウォーミングアップ対応
 - ・練習会場系の指示に従う。ハードル等の練習用具は設置されているもの以外は使用しない。
- ⑩雨天練習場は、原則として使用禁止とする。
- ⑪ジョギングコース（園路）は、ウォーキング、ジョギング以外で使用しない。
- ⑫陸上競技場以外の施設の敷地および付帯する駐車場を練習で使用しない。（特に野球場の駐車場）

4. 競技場について

- ①本競技場の競技走路及び助走路は全天候舗装である。スパイクシューズのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。また、ピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない（TR5.2）。土用のピンの使用は厳禁とし、その他に競技場の使用規則に従うこと。
- ②会場での行動は、運営方針又は会場系の指示に従うこと。

5. 招集について

- ①招集所は正面玄関前に設ける。
- ②招集開始及び完了時刻は競技開始時刻を基準として下記のとおりとする。

種 目	招 集 開 始	招 集 完 了
ト ラ ッ ク 種 目	3 0 分前	2 0 分前
走高跳・走幅跳・三段跳	7 0 分前	6 0 分前
砲丸投・円盤投・やり投・ハンマー投	7 0 分前	6 0 分前
棒 高 跳	現地招集	—
第2競技場で行う種目	4 0 分前	3 0 分前

- ③招集は、定められた時間以内に招集所で、競技者自らがアスリートビブス、競技用靴、衣類、持ち物等の点検を受ける。以上をもって招集を完了とする。
- ④招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものと処理する。
- ⑤招集完了後、トラック競技の選手は各ゲートの外で出発係の指示に従い、競技場に入場し、現地で点呼を受ける。また、フィールド競技の選手は競技場への入場を認め、審判の指示に従い公式練習を開始する。また、競技開始前に現地で点呼を受ける。
- ⑥2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が招集所競技者係に申し出て【同時出場届】を受け取り、必要事項を記入し提出すること。

6. 棄権について

出場種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに招集所で配布する【欠場届】を招集所競技者係に提出する。

7. 入退場およびコーチングエリアについて

- ①メインスタンドおよび芝生スタンドには、正面スタンド裏側および第2ゲート（1500m スタート地点）と第3ゲート（200mスタート地点）から入退場する。ただし、第2・3ゲートは競技に支障がある時間帯は使用を制限することがある。
- ②競技役員・その時間の競技に出場する選手・補助役員・主催者が許可した者以外はグラウンドには立ち入らない。
- ③本競技場への競技者の入退場は次のとおりとする。
- ☐300m・400m・1500m・300mH・400mH・2000mS C・3000mS C・Aゾーン使用のフィールド競技
 - ・第1ゲート（フィニッシュ地点前方）を利用し、入退場する。
 - ☐走幅跳・三段跳
 - ・正面玄関より入退場する。
 - ☐その他の種目
 - ・第3ゲート（200mスタート地点）から入場し、トラック競技は第1ゲートより退場、フィールド競技は第3ゲートより退場する。スタート地点に戻る場合は、芝生スタンドを通行する。なお、衣類等の輸送は、各チームで行い、スタンドおよび場外を通行する。
- ④コーチングエリアを6か所設置する。（メインスタンド2カ所・両サイドスタンド1カ所ずつ・バックスタンド2カ所）コーチングエリアへの入場は、該当選手の試技時とし、指示後は速やかに退場すること。コーチングエリア内の居座りは禁止とする。
- ⑤更衣室の使用は女子のみとする。更衣室は更衣のみに使用する。

8. アスリートビブス・腰ナンバーカードについて

- ①アスリートビブスは2枚を胸部と背部にそのままの大きさをユニフォームにつける。ただし、跳躍種目の競技者は胸部または背部だけでもよい。
- ②トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバーカードをパンツ右側後方につける。
- ③競歩種目は、招集所で特別アスリートビブスを受け取り使用する。競技終了後ゴール地点で返却する。

9. トラック競技の番組編成について(レーン順・試技順)

トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。

10. 計時について

すべてのトラック競技種目は写真判定（1／100秒）で行う。

11. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方（天候、その他の条件によって変更する場合もある）

種 目	練 習					
男子共通走高跳 1・2組	1 m 6 5	1 m 7 0	1 m 7 5	1 m 8 0	1 m 8 3	～ 3 c m
男子共通走高跳 3・4組	1 m 4 0	1 m 4 5	～ 5 c m	1 m 8 0	1 m 8 3	～ 3 c m
女子共通走高跳 1組	1 m 3 5	1 m 4 0	～ 5 c m	1 m 5 0	1 m 5 3	～ 3 c m
女子共通走高跳 2組	1 m 1 5	1 m 2 0	～ 5 c m	1 m 5 0	1 m 5 3	～ 3 c m
男子 A 棒高跳	3 m 0 0	3 m 2 0	3 m 4 0	3 m 6 0	3 m 8 0	～ 10 c m
男子 B 棒高跳	3 m 0 0	3 m 2 0	3 m 4 0	3 m 6 0	3 m 8 0	～ 10 c m
女子共通棒高跳	2 m 2 0	2 m 3 0	2 m 5 0	2 m 7 0	2 m 9 0	～ 10 c m

12. 棒高跳支柱移動申告について

各競技者は、【支柱移動申請書】を招集所で受け取り、自分の希望する支柱（アップライト）の位置を記入し、公式練習前に担当審判員に提出するか、現地にて担当審判員に申告する。その位置を変更したい場合は、ただちに担当審判員に申し出ること。

13. 競技用具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意した物を使用する。ただし、個人所有の棒高跳用ポールは、検査に合格したものに限り使用できる。

14. 制限タイムについて

長距離・競歩種目において競技運営上必要と認めた場合は、特にレース圏外の選手を中止させることがある。
ラスト1周が以下のタイムを超えてしまった場合

男子 3000m	1 1 分	5000m	A 1 8 分	B 2 0 分
女子 3000m	1 4 分			
男子 5000mW	3 3 分	女子 5000mW	3 5 分	

15. 競技場の中に商品名のついた衣類・バックを持ち込む場合について

競技場内に、下記規定以外の製造会社・ロゴがついた物品を持ち込むことは、規定に抵触するので慎むこと。

- ①上半身の衣類 製造会社名／ロゴ：1 カ所・4 0 cm²まで文字高さは5 cm以内
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで前後に1 つずつまで。
- ②下半身の衣類 製造会社名／ロゴ：1 カ所・4 0 cm²まで文字高さは5 cm以内
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで1 つまで。
- ③バック・タオル（ブランケット含む）
製造会社名／ロゴ：1 個・最大4 0 cm²まで文字高さは5 cm以内
- ④ソックス・帽子・手袋（対になっているものはそれぞれに1 つずつ）
製造会社名／ロゴ：1 個・最大6 cm²まで文字高さは3 cm以内

16. 抗議について

競技規則 TR8 による。

17. 補助役員について

- ①競技開始3 0 分前までに第1 ゲート（フィニッシュ地点前方）外に集合する。
- ②補助員として競技場に入場する際は配布された I D カードを身に付けること。

18. 清掃について

- ①自分で出したゴミは持ち帰りを原則とするが、競技終了後各地区で分担されている清掃場所から出たゴミについては分別処理をして所定の場所に捨てること。
- ②各地区常任委員清掃分担箇所（下記の場所を責任を持って清掃すること）

・第1 部部	芝生スタンド・競技場内（走路）
・第2 支部	メインスタンド・スタンド裏通路及びトイレ（フィニッシュ側）
・第3 支部	競技場周辺（16 号側緑地帯、モノレール下）・第2 競技場
・第4 支部	メインスタンド・スタンド裏通路及びトイレ（スタート側）

◎各清掃場所の確認は全日程において、全常任委員及び執行部で責任を持って行う。

◎常任委員は以下の日程で残り、最終確認を行う。

- ・ 5月 31日（土） 3支部・4支部常任委員、執行部
- ・ 6月1・8日（日） 全常任委員、執行部
- ・ 6月 7日（土） 1支部・2支部常任委員、執行部

19. 開門について

①本競技場

会場の開門は8時とする。ただし、それより前に支部ごとに指定された時間にそれぞれの入場場所から、各校代表者2名以内が先に入場し、待機場所を確保する。 *更衣室は控え場所として使用しない。

支部	待機場所	入場場所
第1支部	スタンド裏中央	スタンド裏中央ゲート
第2支部	スタンド裏 100m フィニッシュ側	スタンド裏 100m フィニッシュ側ゲート
第3支部	1階駐車場側通路	正面玄関前
第4支部	スタンド裏 100m スタート側	スタンド裏 100m スタート側ゲート

②その他の場所取り

- ・ 第2競技場・16号側緑地帯・時計台付近緑地帯・モノレール下緑地帯（以上、テント等設置可）、芝生スタンド（シートのみ）
- ・ 第2競技場の場所取りを希望する場合は、各週土曜日（5/31・6/7）の6時40分に第2競技場第3コーナー外側付近に2名以内が集合し、役員の指示に従い事前に告知してある順番に入場し控え場所を確保する。その後、来場した学校は空いている場所を利用してよい。各週土曜日にテントなどを設置した場所に翌日までテントの骨組みを置いておいてよい。

③諸注意

- ・ ①②以外の場所取りは禁止とする。
- ・ 各校のテント、シート等の控え場所は1か所限定とする。
- ・ 芝生スタンドにはテント、ターフ等の設置をしない。
- ・ 樹木等にロープを巻き付ける等の傷めるような行動は慎む。
- ・ 控え場所での三密の回避および消毒を徹底する。

20. その他

- ①競技場の開門は本競技場8時、第2競技場7時とする。
- ②ホームストレート側（本部前からフィニッシュ付近まで）を通行しないこと。
- ③競技会で発生した傷病については主催者側で応急処置をする。医務室はスタンド正面下に置く。
- ④横断幕については、メインスタンド・芝生スタンドともに最上段手すりのみとする。土曜日に設置したものを翌日まで置いておいてよい。**この記録会については横断幕を設置する場所の抽選は実施しない。**
- ⑤第2競技場内を除き、各学校の荷物は全て毎日持ち帰ること。本競技場内に保管することはいっさい認めない。第2競技場内に残置する荷物はひとまとめにしてブルーシート等で覆い、風などで飛散することのないようにすること。テントは、天幕を外し骨組みだけにして最も高さを下げた状態にする。傘のように折り畳み収納するタイプのものは、最も小さく折り畳み横倒しにして置いて帰ることができる。
なお、残置する荷物については、各学校の責任とし、大会主催・主管者および会場管理者は一切の責任を負わない。
- ⑥貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難、紛失等に十分注意すること。
- ⑦今年度、国スポ実施種目で15位までの入賞者は国スポ最終選考会への出場資格を得る。
- ⑧今年度の国スポでは成年男子3000m障害は少年男子区分から、成年女子10000m競歩、走高跳、棒高跳は少年女子区分からもエントリーができる。ただし、それぞれの種目の成年種別の標準記録に到達した者とする。また、国スポ最終選考会への出場については、指定された期日までに標準記録を突破した者とする。
- ⑨スマートフォン・スマートウォッチ（受信機能のあるもの）・トランシーバー・ビデオカメラ・音楽再生機器等、当該競技場所に持ち込むことは出来ない。
- ⑩競技場内はメインスタンドと芝生スタンドを除き、日傘の使用は禁止とする。但し、フィールド競技のみ天候に応じて認める。
- ⑪2000mSC、3000mSCおよびやり投に出場する選手は、安全のため必ずスパイクシューズを着用すること。
- ⑫三段跳の踏切位置は男子A1組目は11m、男子A2組目と男子B1組は10m、女子A・Bは9mとする。
- ⑬投てき競技に出場する選手は炭酸マグネシウムを持参することが望ましい。
- ⑭選手の本部への立ち入りを禁止とする。